

- ㊦ 貫入が終了したならばアンカーチャンパーの中に圧縮空気を送り込み チャンパーを底質から引抜くのである。
- ㊧ 最後にナイロンロープで全装置を引揚げながらコアサンプラーも底質から引抜き船上に引揚げられるのである。

この外にも Kermabon's hydrostatic corer Sysoev-Kudinov hydrostatic corer Varney-Redwine hydrostatic corer, Bottom standing hydrostatic corer などがある。

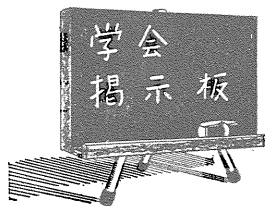
**む す び**

上記のように沈置式の各種装置を羅列してみたが 対象地質とか採取深度の条件によって適用機種はまちまちである。 ということは各種条件をすべて満足させるような万能型装置は無いということである。 それ故 調査目的に応じて機種を選定したり 新しく試作を試みる

場合 対象地質 採取深度 可働水深 取扱い・修理の難易性 諸経費などの諸条件を総合的に検討し あまり悠張らずに必要な最少限度に目標を絞ることが必要であると思われる。  
(筆者らは 試験課)

**引用文献**

- 1) 柱状採泥器について：佐々木忠義監修 海洋開発(3)昭46.3
- 2) 水野篤行：海底堆積物の採取装置 橋梁 vol. 17, no. 10 昭46.10
- 3) 河内英幸外：海底地質のサンプリングおよびショートボーリング法の研究(その1・2) 地質調査所月報 vol. 18 no. 10・11 昭42.10.11
- 4) 技術部試験課：深海底ボーリングのいろいろ 地質ニュース no. 57 昭34.5  
技術部試験課編：改訂函解ボーリング便覧 ラテイス 昭47.3.15



**・日本地学教育学会**

- 1. 昭和47年7月31日(月)～8月6日(日)
- 2. 日本地学教育学会 第26回全国大会
- 3. 札幌西高等学校(札幌市琴似町宮の森 800 番地)
- 4. 日本地学教育学会外3団体
- 5. 北海道札幌市琴似町宮の森 札幌西高等学校地学教室内 日本地学教育学会

第26回全国大会事務局 ☎(011) 611-4401

**・地学団体研究会**

- 1. 昭和47年8月2日(水)～5日(土)
- 2. 地学団体研究会 第26回総会
- 3. 新潟大学教養部(新潟市五十嵐二の丁)
- 4. 地学団体研究会
- 5. 東京都豊島区南池袋 3-32-12 埼玉ビル内  
地学団体研究会 ☎(03) 983-3378

**・日本地球化学会**

- 1. 昭和47年9月11日(月)～13日(水)
- 2. 地球化学討論会
  - ① 有機地球化学の分析化学的諸問題
  - ② 親銅元素の沈殿過程 および一般討論・発表
- 3. 宮城教育大学(仙台市荒巻字青葉)
- 4. 日本地球化学会・日本化学会共催
- 5. 東京都杉並区高円寺北4-35-8 気象研究所地球化学部内  
日本地球化学会事務局 ☎(03) 337-1111 内線75

**・日本化学会**

- 1. 昭和47年10月11日(水)～14日(土)
- 2. 第27秋季年会(含連合討論会)  
化学関係協会連合研究発表会合同大会
- 3. 中京大学(名古屋昭和区八事本町101-2)
- 4. 日本化学会ほか
- 5. 東京都千代田区神田駿河台1-5  
日本化学会 ☎(03) 292-6161

**・24th International Geological Congress**

- 1. 昭和47年8月21日(月)～9月1日(金)
- 2. 第24回万国地質学会議
- 3. モントリオール(カナダ)
- 4. 万国地質学会議組織委員会
- 5. J. E. Armstrong, Secr. General, 601 Booth Street, Ottawa 4, Canada

**・日本岩石鉱物特殊技術研究会**

- 1. 昭和47年8月1日(火)～3日(木)
- 2. 第15回研究発表会  
(金属 非金属 構造地質 耐火物等の薄片 研磨品の作成に関する講演会)
- 3. 東京大学工学部資源開発工学科  
(東京都文京区本郷7-3-1)
- 4. 日本岩石鉱物特殊技術研究会
- 5. 川崎市高津区久本 135 地質調査所内  
日本岩石鉱物特殊技術研究会  
☎(044) 86-3171

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者  
5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)

Q: 風化作用による明ばん石化作用とはどのようなものか?

A: 風化作用によって形成された明ばん石は 経済的な意味での鉱床はなしていないが とくに ウラル パキスタンでみられる。これには高い気温が必要で アルミナーシリカ岩が硫酸により分解され その部分の土壌が明ばん石化すると考えられる。このような成因では明ばん石のほかに jarosite が形成される。jarosite は他の場合には形成されない。このタイプの明ばん石化作用は 当然 熱帯地方でおこなわれるのだが 日本南部地域でも おそらく 同様の過程がみとめられるものとする。

(訳者あとがき)

この講演は4月30日 地質調査所東京分室 海外地質調査協力室で鉱床部談話会として行なわれたものである。演者の KASHKAI 教授は ソ連邦アゼルバイジャン共和国科学アカデミー会員であるほか 同共和国バクー大学の岩石学 鉱床学 鉱物学部門の主任教授として長い間研究と指導にあたって来られ この講演の2つのテーマである 明ばん石と listowenite のほか コーカサス地域での金属鉱床と地質構造との関連や 熱水変質作用による粘土鉱物の形成過程などについても幅広い研究をしてこられた方である。今年65歳。これまでに発表した論文数は 600 余篇とのことで その広範な知識と見聞は この短い講演の端々からもうかがうことができる。なお 来日を機会に地質調査所へ寄贈された教授の著書の題名を以下に掲げておく。また 文章の順序を整えるため 話の順序を一部改変したことをお断りしておく。

(訳者は鉱床部)

寄贈著書リスト

1) АЛУНИТЫ, ИХ ГЕНЕЗИС И ИСПОЛЬЗОВАНИЕ; М. А. КАЩКАЙ ТОМ 1, 2 ИЗДАТЕЛЬСТВО «НЕДРА» МОСКВА 1970

[Alunites, Their Genesis and Utilization; M. A. KASHKAI, vol. 1, 2, «Nedra» Publishing House, Moscow, 1970]

2) ПОПЕРЕЧНЫЕ (АНТИКАВКАЗСКИЕ) ДИСЛОКАЦИИ КРЫМСКО-КАВКАЗСКОГО РЕГИОНА, ИХ РОЛЬ В МАГМАТИЗМЕ И ЗАКОНОМЕРНОСТЯХ РАЗМЕЩЕНИЯ ПОЛЕЗНЫХ ИСКОПАЕМЫХ; М. А. КАЩКАЙ, Г. П. ТАМРАЗЯН; ИЗДАТЕЛЬСТВО «НЕДРА», МОСКВА, 1967

[Cross-Folds (Anticaucaasian) of the Crimea-Caucasus Region, Their Effect on the Magmatism and Regularities in Useful Minerals Distribution; M. A. KASHKAI, G. P. TAMRAZIAN; Publishing Office «Nedra», Moscow, 1967]

3) ПЕТРОЛОГИЯ И МЕТАЛЛОГЕНИЯ ДАШКЕСАНА И ДРУГИХ ЖЕЛЕЗОРУДНЫХ МЕСТОРОЖДЕНИЙ АЗЕРБАЙДЖАНА; М. А. КАЩКАЙ; ИЗДАТЕЛЬСТВО «НЕДРА», МОСКВА, 1965

[Petrology and Metallogeny of Dashkesan and Other Iron Ore Deposits Area of Azerbaidjan; M. A. KASHKAI, Publishing Office «Nedra», Moscow, 1965]

学界ニュース

標準試料に関するパネル討論会  
— X線分析を中心に —

主催 X線分析研究懇談会関東支部

日時 8月23日(水) 10時より

会場 神奈川県工業試験所 講堂

[横浜市金沢区昭和町3173 交通: 国電新杉田駅または京浜急行杉田駅下車 電話: (045)771-1301]

講演 総論 (分析研) 服部 只雄  
粉体標準試料 (地質調) 安藤 厚  
服部 仁

溶液標準試料 (三菱電機) 松井 文夫  
X線回折用標準試料 (明大工) 貴家 恕夫  
市販標準試料 (新日鉄) 河島 磯志  
標準試料作成と分析値の決定

(原研) 中島 篤之助  
標準試料の管理 (日本鋼管) 瀬野 英夫

登録料 300円(要旨集代を含む) 当日会場にてご納入下さい

照会先 ☎151 東京都渋谷区本町1-1-5 東京工業試験所内 社団法人日本分析化学会 X線分析研究懇談会 関東支部 電話: (03)378-1991